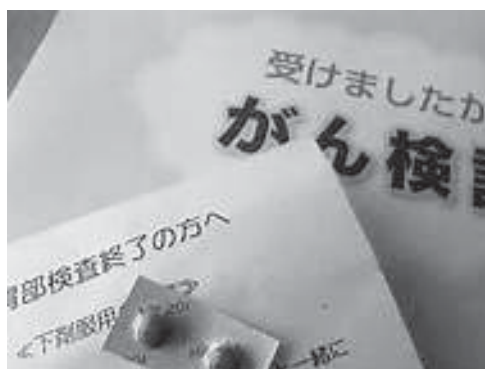


「医療費削減対策」



やまざき さちこ
山崎 幸子
議員

質問 他の自治体で、検診を受けた人の中から抽選で数名に旅行券が当たる、「検診を受けてソウルへ行く！」というキャンペーンを行っているところがあり、自治体の費用も20万円くらいで済み、話題性もあり、健診の受診率も向上するので、本村でも取り入れてみたらどうか。



住民の健康意識向上の施策を

答弁 (保健福祉部長) 本村での国保財政運営は極めて厳しい状況にあり、健診受診率を上げることは非常に有効と考え取り組んでいる。特定健診の受診率は県平均を上回っているが、がん検診受診率はあまり伸びていない。今後、今まで以上に住民に働きかけ、健康意識を高めるための景品や検診時のポイント事業も検討していきたい。

質問 「旅行券が当たる」という話題性で受診率が上がれば、わずかな公費負担で大きな医療給付費の削減につながると思うので、ぜひとも検討していただきたい。

ボランティアポイント制度の再検討

質問 高齢者が、ポイントをもらせるならボランティアをやってみようかな、というきっかけとなり、そのことにより、生活に張りが出て、病気になるリスクも減り、結果的には医療費の削減にもつながる。そのような高齢者ボランティアポイント制度を以前にも質問したが、今一度検討してみたらどうか。今後、学校の土曜授業を取り入れるようになった場合、下校時の生徒の見守りを高齢者によるボランティアを利用したらどうか。

答弁 (教育長) 高齢者がボランティアポイント制度を導入することにしたなら、高齢者に活動の場を与え、子どもたちのためにも、高齢者自身のためにも、また村の財政のためにも良い結果につながるという提案には全く異論はないので、その方向で進めていく。



ボランティアで見守りと健康づくり